



## 校長室より



令和6年 9月24日

No.17

自分らしく生きる 豊かに生きる

暑さもお彼岸までとよく言われますが、朝夕は少し涼しくなりましたが、今年は日中の残暑がいつまで続くのかわかりませんね。2学期は毎週行事が入っていて、子どもたちもアクティブに取り組んでいます。

9月18日(水)は、火災避難訓練が行われました。本校1階の給湯室から出火の設定で、2階の家庭科室からではなかったこともあり、外側の階段を使って、大回りで和歌山病院のピロティーまで避難しました。6分半で全員無事に逃げることができました。時間をずらして、病院内のはまかぜ教室からも出火した設定で、一学部入院生も、ピロティーに担任や看護師さんと一緒に避難することができました。通学生は、運動場で消火器を使った初期消火の訓練も行いました。いざという時に、適切な行動がとれるよう今後も訓練を続けていきたいと思います。



9月20日(金)は、授業参観と保護者学級が行われました。授業参観は5月のPTA総会の日以来です。学校生活にも慣れ、落ち着いて学んでいる子どもたちの姿を見ていただけたのではないのでしょうか。保護者学級では、本校の学校運営協議会委員であるTETAU事業協同組合理事・ディレクターの森脇 碌さんに「インターネットを使った働き方」についてワークも取り入れてお話をいただきました。人との違いの中に価値を見出す時代、子ども一人一人の多様な価値となる種を見つけ、体験を通して育てていくことが大切だと教えていただきました。



9月24日(火)、ホテルアバローム紀の国にて、第26回口ハスフェアが開催されました。2階会場では、高等学校や支援学校生徒の作品展示と販売ブースが並び、多くの来場者で賑わっていました。本校からも生徒作品が展示され、高等部生徒2名が現地で接客を担当しました。午後からは、中学部生徒たちも学校からリモートでみはまブースでの呼び込みを経験しました。

